

令和元年度第2回富津市在宅医療・介護連携推進会議次第

日時——令和2年3月23日(月)——

午後7時00分から

場所——富津市役所5階502・503会議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

(1) 各ワーキンググループにおける令和元年度の取組について(報告)

・在宅医療・介護連携部門ワーキンググループ

・認知症施策部門ワーキンググループ

(2) 君津圏域医療・介護多職種連携エチケット集(案)について

(3) 「在宅医療・介護関係者資源リスト」の更新について

4 その他

5 閉 会

議題第1号 各ワーキンググループにおける令和元年度の取組について(報告)

・在宅医療・介護連携部門ワーキンググループの取組について

令和元年10月18日(金) 午後6時30分から 市役所4階401会議室にて会議を開催。

議題は、(1) ワーキンググループでの検討事項(講演会の実施)について

(2) エチケット集共用化について

(3) 在宅医療・介護関係者資源リストの更新について

出席者を4つのグループに分け、グループワークを実施し、意見を出し合った。

(1) 講演会の実施について

事前に提出された意見をもとに、講演会を開催するにあたり、対象、内容、講師、時期、場所について議論し、グループごとに発表したところ、「市民を対象に在宅で最期を迎えることについて、地域で活躍している先生を講師に」という点で概ね一致したことから、事務局と三枝ワーキンググループ長とで打ち合わせ、企画し、講演会の詳細を決定した。

周知の方法については、推進会議の委員にお知らせするとともに、各職能団体へ依頼した。また、市民に対しては市ホームページ・広報ふつつ2月号への掲載及び1月の区長回覧での周知を図った。

講演会当日は205名の参加があり、参加者にアンケートを依頼したところ142名(69.3%)から回答をいただいた。アンケートの結果については別紙のとおり。

また、古堀委員、介護老人保健施設わかさの本山事務長については、講演会当日の運営にご協力をいただきましたので、ご報告と改めて感謝申し上げます。

(2) エチケット集共用化について

袖ヶ浦市においては、すでにエチケット集が医療・介護の現場で活用されているが、袖ヶ浦市内だけではなく近隣市の医療・介護機関とやりとりすることも多いため、四市で協議し、エチケット集の四市共有化を図っていくという方針が決定した。

四市共通のものとしてエチケット集を採用する場合、そのまま活用できるのかどうか、また項目の加除等について議論した。

各グループの発表では、

- ・四市で共用化するのであれば、様式はこのままがよいのではないか。
- ・必要性のある人に送ったり、医療事務の方が作成できるよう、介護保険被保険者証に記載されているような要介護度や利用機関などを事前に記入しておくことで、医師の負担が減るようにした方がよい。
- ・ケアプラン作成が前提になっているので、もっと日常的に使えるような様式でもよいのではないか。

発表された意見を取りまとめ、後日事務局から袖ヶ浦市へ報告し、(案)のような修正とされた。

(3) 在宅医療・介護関係者資源リストの更新について

平成 29 年 3 月に作成した「在宅医療・介護関係者資源リスト（以下「資源リスト」という）の更新について、今回は一般市民にも配布（公開）することを前提とし、記載する項目について加除するものがあるか議論した。

各グループの発表では、

- ・市民向けに作成するのであれば、送迎の有無など市民が何を知りたいのかを把握しなければならない。
- ・デイサービスでは、障がい者向けにサービスを提供しているところもあるので、それが分かるとよい。
- ・項目によっては、詳細で専門用語が多い。

発表された意見を取りまとめ、令和 2 年 1 月 29 日に事務局から関係機関へ資源リストの更新の照会をした。

関係機関は、市内の医療機関、介護事業所等だが、広域の医療を提供する君津中央病院及び君津圏域並びに安房圏域の認知症疾患医療センターへ照会した。

・認知症施策部門ワーキンググループの取組について

令和元年5月13日（月） 午後6時30分から 市役所4階401会議室にて会議を開催。

令和2年度に市内で認知症メモリーウォークを実施することを目標として意見を出し合った。

実行委員会を立ち上げるにあたり、ワーキンググループの委員に実行委員となっていただくこととした。

その後、企画・立案の実務を行うにあたって、ワーキンググループの委員のみならず多職種の連携が不可欠なことから、事務局から市内医療機関、福祉事業所等に対して、実行委員会に加わってもらうよう依頼した。

認知症メモリーウォーク富津実行委員会を組織し、会長は、認知症施策部門ワーキンググループの細井ワーキンググループ長に、実行委員長は、特別養護老人ホーム金谷の里の脇坂和弘氏に、広報委員長は、有江直樹氏にそれぞれ務めていただくことが決まった。

認知症メモリーウォークの開催日は、令和2年10月11日（日）、富津市ふれあいスポーツフェスタとの同日開催を予定しており、コースは市民ふれあい公園～イオンモール富津周辺を設定した。

開催に向け、上記実行委員会委員長と川口認知症地域支援推進員を中心に、実行委員会メンバーの増員を行い、協賛の依頼や広報活動、当日の運営等について計画を進めていただいておりますので、令和2年度も実行委員としてご協力をお願いします。

議題第2号 君津圏域医療・介護多職種連携エチケット集(案)について

エチケット集の共用化に係る経緯については、議題第1号の在宅医療・介護連携部門ワーキンググループの取組(2)エチケット集共用化についてのとおり。

四市会議において、修正に係る意見、各市での在宅医療・介護連携推進会議への報告状況や評価方法等について延べ3回会議を開催し、別添の「君津圏域医療・介護多職種連携エチケット集(案)」の作成に至った。

令和2年度から、本エチケットを運用することとしたい。

また、エチケット集の様式に基づいた「医療情報一覧」を作成したので、運用の際に活用願いたい。

袖ヶ浦市版を作成した際は、全事業所を対象にエチケット集を個別で郵送し、また、市ホームページに掲載し、使用を周知していた。

別紙のような連絡票は、発信がケアマネジャーであることを想定しているため、当市においても、市ケアマネジャー協議会に対して説明を実施したり、介護保険サービス事業者会議において周知に努め、積極的な活用を呼びかけていくため、所属団体の委員の協力をお願いいたします。

なお、修正及び更新の時期については随時としているが、当市を含め各市で在宅医療・介護連携推進会議の会議体を持っているので、会議において出された意見を令和2年度の第4四半期頃を目安に四市で協議の上、修正することを予定しており、本エチケット集に関しては、令和2年度以降定期的に会議を開催していく予定。

今回送付するエチケット集に関する意見については、令和2年度に修正を検討する際の参考意見とさせていただきたい。

議題第3号「在宅医療・介護関係者資源リスト」の更新について

「在宅医療・介護関係者資源リスト」については、議題第1号の在宅医療・介護連携部門ワーキンググループの取組（3）在宅医療・介護関係者資源リストの更新についてのとおり。

関係機関から寄せられた修正箇所等を事務局において確認し、取りまとめて更新した資源リスト（案）は別添のとおりであり、情報を提供いただいた機関に対して送付を予定しており、修正等がなければ資源リストとして活用したい。

一部公開を限定している項目があるものについては、関係者間において活用するものとし、議題第2号の「君津圏域医療・介護多職種連携エチケット集（案）」を運用する際にも、関係機関に資料として活用してもらいたい。

また、公開可能なものはすべて市ホームページにデータを掲載し、閲覧できるようにする予定。

令和2年度において、市民に活用してもらおうべく周知を図る。